

目次

少しながいお店の紹介	・・・	1
サービスについて	・・・	3
店内図	・・・	5
かんたんな説明	・・・	7
料金：本や merkki	・・・	9
料金：学びや merkki	・・・	14
利用方法	・・・	15
気になる、いろいろ	・・・	18
少し変わったお願い	・・・	22

このお店にはいくつも不便なところがあります。

高い本棚やイスの移動。ぼこぼこした床。
複雑そうな料金システム。

だから助けを呼んでください。
あなたの目の前の人を頼ってください。
そして頼られてください。

そうやっていると、
何かの兆しがあるような気がするのです。
「尊敬と妥協と少しのやさしさ」で支えられているこの空間。

ようこそ、本や学びや merkki へ

<少しながいお店の紹介>

当店は本屋ですが、本の数は決して多くありません。

当店は塾ですが、効率的な学びは推奨していません。

本屋でありながら、長くいられる空間を目指しています。

塾でありながら、回り道を楽しめる時間を目指しています。

そんな、中途半端であり、少し変わったお店にお越しくださり、ほんとうにありがとうございます。そして、こんな文章までも読んでくださるなんて、なんと心にゆとりのある、優しいお方でしょうか。

店名の「merkki」（メルッキ）とは、フィンランド語で「しるし」や「兆し」を意味します。「kirjan-merkki」（キーアルンメルッキ）で「しおり」となります。ほんとのところ、後者の「kirjan-merkki」を店名にしたかったのですが、誰が読めるねん、というどこからともなく舞い降りてきた鶴の一声により、前者の「merkki」（メルッキ）となりました。

本や学びや、というのは前述したとおり、本屋でありながら塾でありながら、中途半端さも相まって「本や学びや〇〇や〇〇や…」といった並列の意味でもあります。

※ここで学びやと言っているのは、塾という表現をあまり好まず、学校でもないなあ、と考えた挙句、学ぶ場所＝学びや、という結論に至ったのであります。

さて。店名についてはそれくらいとして。次は場所の話をば。

気付かれた方はいらっしゃるでしょうか。

ところどころにいる、彼らを。

中心には「S45・12・21」と刻まれた古びた木枠。

雑貨の近くの緑の変なカタチをした机。

今はもう役目を終えたエアコンや時計。ラジオデッキ。

床はぼこぼこになってしまっており、

窓枠もこれまでの年月を語るような佇まい。

昭和。もちろんスマートフォンや携帯電話もない時代から。

木材の香りと、煙草。汗のにおい。

真剣だからこそその怒号。笑い声。

ここは、木型工作所。

例えば船をつくる部品の。その部品を作るための“木型（きがた）”を作っていた場所。

主な作業場は2階。作ったものを1階へ降ろし、納品先へ。

確かに流れていた空気。活気。そして、記憶。

人も場所も。変わる。

それはまるで、本の1ページを読んでいるかのよう。

一瞬の出来事であり、永遠を感じてしまうような時の流れ。

しおりをはさみ、また新たな1ページを開いているだけ。

そんな風に、このお店はできました。

<サービスについて>

当店では、随所に、ご来店される“あなた”へ頼ってしまうようなシステムがそろっています。(決して店主が楽をしようとしているわけではありません…が、ひとりなので助けてもらえると嬉しいです)

少しの気遣いが“やさしい世界”を実現し、サービスを受動的に体感するのではなく、“能動的に参加”できることを目指しております。そのため当店では、

“尊敬と、妥協と、少しのやさしさ”

をご来店される方々にもお願いしています。

そんなすこし変わったお店のサービスは、おおまかに以下の通りです。

1階

本や merkki 9:00~16:00

- ・新刊本、中古本や雑貨などが購入できる。
- ・ターナーとして、棚主になって本を売ったりおすすめしたりできる。
- ・座席を利用して、本に囲まれた静かな場所で過ごせる。
- ・ゆるっと、フリースクールを利用できる。※平日のみ
- ・じむ室を利用することができる(貸出し利用)。※土日祝のみ

学びや merkki 17:30~21:30 ※予約制「行けたら行く」程度でOK

- ・個別対応での学びの時間がある。
- ・自習のスペースとして活用できる。
- ・本屋としての利用も可。

2階(準備中)

- ・ギャラリー等の貸し出しスペース
- ・アトリエ(DIYや絵画など)

座席の利用について、少し補足させてください。

座席の利用には、料金(座席料)が発生します。これには私の経験談を少しお聞きください。

それは、あるカフェへ行った時のこと。

本を読もうと入った場所は、本はあれども、会話を楽しおみなさん。「…落ち着いて本が読めない。」もちろん、そういった場所は大事ですし、会話を楽しお方を責めるつもりはありません。そのときの私には合わなかっただけ、という意味です。さらにこんな話。

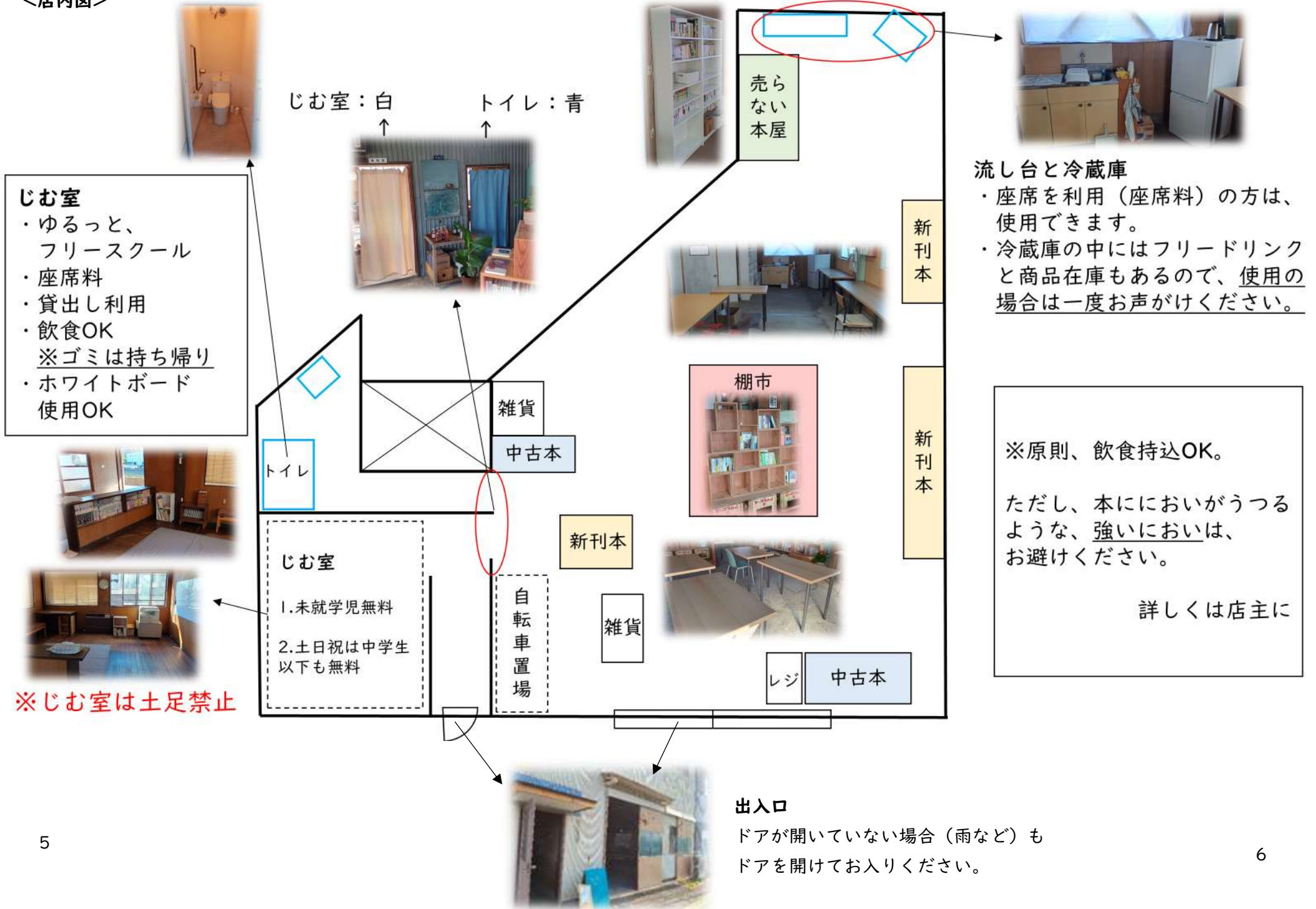
ある飲食店へ行って、食事を楽しんだあと。本を読もうと、本を出す。すると、すぐに店員さんがやって来て、「お下げいたしますね」の一言。私の目の前には、飲みかけのお冷だけ。「これは…帰るべき？」これも店員さんは仕事をしただけですし、私の気が小さかったからという理由でしかありません。でも思ってしまったんです。「本が読みたい・・・」

学生時代から家では勉強できず、学校など他の場所で学習していた私。時折、一人になりたいと願い。落ち着いて本を読みたい。そんな想いから、場所をつかうことに価値(=料金)をつけることができれば、気兼ねなく過ごせないか?と考えたわけです。

こうして、座席料システムを取り入れることにしました。これは、東京の「fuzkue本の読める店」さんを参考にしています。また、事前に過ごしたい時間を申請(あくまでも目安)してもらい、本当の退席時間を記入してもらった後払いにすることで、その時の気分で時間を気にせず過ごしてもらえるようにしました。

長く過ごせば喉も乾く。だからフリードリンクや飲食物の持ち込み(にの強いものは不可)もできるようにしました。

<店内図>



じむ室

- ・ゆるっと、フリースクール
- ・座席料
- ・貸出し利用
- ・飲食OK
- ※ゴミは持ち帰り
- ・ホワイトボード使用OK

流し台と冷蔵庫

- ・座席を利用（座席料）の方は、使用できます。
- ・冷蔵庫の中にはフリードリンクと商品在庫もあるので、使用の場合は一度お声がけください。

※原則、飲食持込OK。

ただし、本ににおいがうつるような、強いにおいは、お避けください。

詳しくは店主に

※じむ室は土足禁止

出入口

ドアが開いていない場合（雨など）もドアを開けてお入りください。

<かんたんなサービスの説明>

本やmerrki		9:00～16:00
物品購入	新刊・中古本	閲覧は無料です ※新刊…定価販売の本
	雑貨など	閲覧は無料です ※ポストカードやドリンクなど
座席料	机の利用	フリードリンク，売らない本屋，じむ室内のマンガ読み放題
じむ室	ゆるっと、フリースクール	自習メイン+店主のスキマ時間 ※平日のみ，店内の本読み放題，利用申込み必要
	貸出し利用	室内にあるマンガや絵本を読める ※土日祝のみ
ターナー (棚主)	棚市	自作本や中古本を販売 ※2つのプランより選択
	推すそわけ	好きなモノやコトをおすすめ，展示 ※販売はできません
	売らない本屋	店内限定で読むことができる本の設置 ※棚の高さや幅で料金が変わります

学びやmerrki		17:30～21:30 ※当日16:00までの予約制
個別時間		年齢問わず1対1の時間 ※60～70分を1コマ，2つのプラン
自習ワーク	通い放題	営業日の17:30～21:30で通い放題 ※持込み自由，フリードリンクなし
	お試し利用	時間に関係なく1回の利用料金 ※持込み自由，フリードリンクなし



場所の記憶



本や merkki メルッキ

※税込価格

◎座席料

	1時間以内	2時間以内	3時間以内	5時間以内
通常	500円	800円	1000円	1500円
おまとめ割	400円	650円	800円	1200円
学割	300円	500円	800円	1200円
購入割	300円	600円	800円	1300円
学びや割	0円	500円	700円	1000円

〈各種割引の条件〉

- ・おまとめ割(チケット制)・・・前払い。8枚組。組み合わせ自由。
例) 1時間×8枚=3200円, 1時間×4枚+2時間×4枚=4200円など
- ・学割・・・学生であること。※証明できればOK。
- ・購入割・・・書籍や雑貨など合わせて税込1500円以上の購入。
- ・学びや割・・・学びや merkki で月6000円以上の利用。

※座席利用特典のフリードリンク、セルフ方式です

ミネラルウォーター(軟水)、麦茶 ※ペットボトル
コーヒースティック、ティーバッグ(紅茶、ルイボスティールなど)

◎書籍

- ・新刊本・・・定価販売
- ・中古本・・・100円～
- ・棚市・・・各ターナー(棚のオーナー)による値付け

◎ターナー

ターナーとは棚のオーナーのことで、当店では3種類の中からターナーになることができます。

1. 棚市: 本屋として、本の販売が可能です

※売上金は月初に受け取り可能

	料金	販売手数料	注意点
じっくりプラン (継続型)	月1800円	なし	月初めに支払い
つかのまプラン (短期型)	月500円	1冊毎100円	3カ月まで まとめて前払い

2. 推すそわけ: 推し活+おすそわけ。推しのおすすめコーナーです

	料金	注意点
推すそわけ	月500円	販売NG 月初めに支払い 棚市と同じ棚

3. 売らない本屋: 店内限定で読める本として、おすすめの本が置けます

	料金	注意点
高タイプ	月1600円	店内限定の貸出しのみ 半分の幅なら半額 高さによって料金変動
中タイプ	月1400円	
低タイプ	月1200円	

◎雑貨など

【雑貨】

- ・ポストカード・・・各250円
- ・メモ便箋・・・各600円
- ・レターセット・・・各800円
- ・ステンレスマグ・・・2500円

- ・ステンレスマグ(色あり)・・・各 3000 円
- ・おやさいクレヨン・・・2200 円
- ・おこめのクレヨン・・・2700 円
- ・mizuiro オリジナルスケッチブック・・・各 1300 円
- ・ブックマーク和紙・・・各 880 円
- ・ブックマーク ルーペ付き・・・880 円
- ・ブックダーツ18P・・・880 円
- ・ブックダストブラシ・・・4180 円

【ドリンク】

- ・UME スパークリングジュース・・・350 円
- ・有機オレンジジュース オーガニック・・・350 円

【防災用品】

- ・携帯トイレ・・・500 円
- ・非常食(ごはん)・・・300 円
- ・非常食(おしる)・・・500 円

【お茶・お菓子類】

- ・仙霊茶ティーバッグ 1包・・・各 200 円 10包・・・各 1200 円
- ・玄米きな粉クッキー・・・320 円
※小麦粉・卵・乳製品・白砂糖不使用
- ・古都華いちごクッキー・・・320 円
※卵不使用

◎ゆるっと、フリースクール ※平日のみ

カリキュラムはありません。あるのは本と場所と時間。やってみて、やり直して。小学生以上なら誰でも利用可能です。※2回まで体験無料,要申込

共通	入学金なし・年会費なし	
料金	通い放題 月額5000円	ちょこっと 座席料の学割料金
支払い	当月分を翌月支払い	都度払い

※未就学児のじむ室利用は無料です。

※土日祝でのじむ室利用は中学生以下無料です。

<できること>

- ・静かな空間で過ごす
- ・店内での飲食(強いにおいはNG)
- ・店内の本を読む(大事に扱ってほしい)
- ・店主のスキマ時間(交換日記や声かけ等)
- ・期間限定イベントなど(別途費用あり)

<できないこと>

- ・身体を動かす運動
- ・大声で遊ぶ(静かな店内です)
- ・食事の提供(持込みは可能ですが、においの強いものはNG)
- ・つきっきりでの対応
- ・引率対応(外出は一緒に行けません)

下記の内容は、とくに決まっていません。話し合いながら、試しながら、やり直しながら、決められればいいな、と思っています。

来校(来店)時間,ホームルームの有無,店主とのやり取り,
集まるひと同士の活動,来てからすること など

学びや merkki メルッキ

※税込価格

◎じむ室の貸出し利用 ※土日祝のみ

じむ室を利用して各種イベント等を開催することができます。
ただし、下記の内容を了承いただく必要があります。

料金・・・1200 円/1 時間

- ・話す内容が隣のスペースに聞こえてしまう場合があります
- ・逆に大きな話し声だと抑えていただくようお願いするかもしれません
- ・構造上、お店に用事がある方がすぐそばを出入ります
- ・飲食は基本的に OK です ※においが強いものは NG
- ・コンセント利用 OK です
- ・気になることは事前にお伝えください

これまでの利用例) 読書会, お茶会など

◎じむ室の料金まとめ ※9:00~16:00

	内容	対象	料金
平日	ゆるっと、 フリースクール	小学生 以上	月5000円 or 座席料 (学割)
		未就学児	無料
土日祝	貸出し利用	-	1200円/時間
	自由利用	高校生 以上	座席料
		中学生 以下	無料

◎個別時間

- ・60~70 分を 1 回とする。
- ・学習内容は相談しながら変更が可能。
※時間内でも変更や複数学習が可。
- ・入学金なし。
- ・学校の学習内容であれば、教材費なし。
※尺八などを希望の場合は別途費用の可能性あり。
- ・条件(月 6000 円以上)を満たせば、本や merkki での特典あり。
- ・支払いは**後払い**。 ※今月分の回数分は翌月始めの週に。

	料金	注意点
個別時間のみ	3000円/回	月1回から
個別時間 + 自習通い放題	4000円/回	月2回から

〈割引適用〉

- ・きょうだい一緒に割・・・1 回につき 500 円の割引。
例) 月 4 回の場合、合計で 2000 円の割引が適用。

◎自習ワーク ※フリードリンクはつきません。

- ・学びや merkki の営業時間内なら、好きな時間に自習できる。
- ・店主じーもが空いている場合は、質問あり。
- ・自習者同士での学び合いも OK。(小声で)
- ・支払いは**前払い**。

	料金	注意点
お試し利用	600円/回	利用時間に関係なく 一律での支払い
通い放題	6000円/月	毎月分を前払い

<各種サービスの利用方法>

一本や merkki 9:00～16:00

◎座席やじむ室の利用

1. 利用ノートに「名前（あだ名 OK）」「利用予定時間（10:00～13:00 のように）」を記入。
2. 利用したい椅子を選んで店主に伝える。
※実際に座ってみて数種類の中からお選びください。
3. 自分の好きな場所で、座席を利用する。
※フリードリンクや売らない本屋、じむ室内のマンガ
※本が読める場所を目指しているのご配慮を。
※本を読まなくても全然 OK です。
4. 利用ノートに「退席時間（帰る時の時間）」を記入し、精算。
※利用予定時間と変わっていても全然 OK です。

◎各種割引の利用

1. 学割や購入割、学びや割は精算前に店主にお申し付けください。
2. おまとめチケットは、事前に購入いただくか精算前にチケットを購入いただきます。
※購入したチケットを精算時にお見せいただくことで料金の支払いは発生しません。
※本人のみ、などの利用制限はありません。

◎棚市の利用（ターナー申請）

1. Web で（もしくは店主に聞いて）利用規約を確認する。
2. 店頭で利用申込書を記入し、店主に渡す。
※プランによっては前払い制です。
3. 本を用意し、棚を自分色に。

◎ゆるっと、フリースクールの利用

1. まずは気軽にご相談ください。
2. 無料体験（2回まで）。
3. 一度、ご帰宅。
※店主がいない場で振り返り、どうするかお決めください。
4. 店頭でお申込書を書いていただきます。
5. 次回以降は自身のタイミングでお越しください。

◎じむ室の貸出し利用

1. 事前に注意事項についてご確認ください。
2. スケジュール調整をしたのち、店頭にてお申し込みください。
3. 当日、利用した時間に応じてお支払いいただきます。

☆対応している支払方法

現金
クレジットカード（VISA/Mastercard/JCB/American Express）
電子マネー（QUICPay/iD/交通系電子マネー）
QR 決済（d 払い/PayPay/auPay）

—学びや merkki 17:30~21:30

◎学びや merkki の利用

そもそも利用（個別時間や自主ワーク問わず）には予約が必要です。予約と言っても、「行けたら行く」程度結構なので、SNSのDMやお電話などで気軽にご連絡ください。

◎個別時間の利用 ※成人でも利用できます。

1. 本人を加えての店主とのお話（立ち合い）。
※2回に分けて、①保護者のみ②本人同席でもOKです。
2. 短時間での体験
※保護者の同席可。
3. 一度、ご帰宅。
※店主がいない場で振り返り、どうするかお決めください。
4. 店頭でお申込書を書いていただきます。
5. 次回利用の予約。
※すぐに決めなくても大丈夫です。

◎自習ワークの利用（月額プラン）

1. 店主にお申し付けください。
2. 清算後、チケットをお渡しします。
※購入したチケットを精算時にお見せいただくことで料金の支払いが発生しません。

<気になる、いろいろ>

Q1 本を読む以外に座席を利用してはいけないの？

→そんなことはありません。本が読める場所を目指していますが、それは本が読めるほど落ち着いた場所のことを意味しています。そんな空間であれば、本を読むこと以外のことだってできるはず。あなたは何をしますか？

Q2 ということは、おしゃべり禁止？

→「おしゃべり＝周りを気にせずに盛り上がること」を指している場合、それは禁止とさせていただきます。ただ、裏を返せば、隣同士が聞こえる声で話をするのは構いません。だって、全く話さない静寂というのは、なんだか張り詰めていて怖いからです。

Q3 でも、子ども連れは厳しいよね？

→そんなことはないですよ。もちろん、わざと大声を出してしまう場合は注意させていただきますが、そうでない場合（赤ちゃんの泣き声などの出してしまう声）は違います。だって、みんなそうだったんですよ？それなのに大人になるとそれに寛容でいられないなんて、なんだか悲しいじゃないですか。

Q4 仕事で利用してもいいの？

→条件付きなら大丈夫です。というのも、仕事だからといって、パソコンのキーボードをすごい音で鳴らしたり、Web会議・電話など。誰かの話す声はとくに、本を読んだりする場合には集中をそがれちゃうんです。

Q5 なんだか窮屈そうですね

→そう思う方はそうなのかもしれません。でも、だからこそ、「尊敬と妥協と少しのやさしさ」で支えられている空間なんだと思います。今、これを読んでくださっているあなたも含め、周りにいる方たちみなさんに、感謝です。

Q6 学びやって…結局なに？

→塾と学校を足してそこに水をいれて薄めたような味・・・でしょうか。(逆にわかりにくい。) いわゆるテストのための勉強以外にだって学びは溢れています。私ができる限りのことを、なるべく教科のような分類にこだわらず、やってみたい、という感じです。

Q7 学びや…やっぱりわかんない

→すみません。言葉にするのは難しいし、どれだけ言葉を選んでも届く場合とそうでない場合、全く違う意味で届いてしまう場合など、どうなるかはわかりません。それを補うのが会話であり、相手とやり取りをする、ことだと思っています。学びやもそうですが、本やや棚市でも、みなさんと顔の見える関係であり続けたいと思っています。

Q8 そういや棚市ってなに？

→そうですね。あまり説明できていませんでした。巷では「シェア型書店」として広まりつつあります。いわゆる、棚(区画)を貸し出し、そこをオーナーに使ってもらい小さい本屋さんを営んでもらう。フリーマーケットの本屋さんバージョンです。(実はフィンランドへ旅行に行ったとき週末は広場でよくマーケットをしていました。そこから、棚でのマーケット=棚市、と名付けました。)

Q9 ぶっちゃけ棚市はもうかるの？

→もうか・・・らないことの方が多いい気がします。でも、そもそも本屋さんがあまり儲からないと言われて、その本屋さんが勧めるシェア型書店が儲からないなんて・・・なんかよくやしいじゃないですか！(もちろんすべての人が儲からないわけではないと思います)なので、merkki では、3カ月間は月額500円という破格のチャレンジをしています。

Q10 推すそわけて・・・なに？

→推し活+おすそわけ、です。…ですと言われても、ですよ。こちらは、例えば映画が好きな人。アニメが好きな人。もちろんそのほかでも。おすすめの映画やアニメ、景色や瞬間など、いろいろなことを棚一面使っておすすめしませんか、という企画？です。販売はできませんのでご注意を。

Q11 そういえば、売らない本屋？あるんだっけ？

→はい、ありますよ。座席料を支払っていただけると、売らない本屋(店内では白い本棚に入っている本)やじむ室にあるマンガが読み放題です。売らない本屋では、その名の通り売ってはいないので読みたい場合は座席料をどうぞ。ちなみにターナーとして棚を使っておすすめの本を紹介することもできますよ。

Q12 話は戻るけど、学びやは誰でも利用できるの？

→はい、できますよ。料金も年齢によって変動するのではなく、一定です。(詳しくは9ページ) おしろ大歓迎ですので、一緒に何かしてみませんか？

Q13 あ、飲食物の持ち込みはできるんだっけ？

→できますよ。でも、本においがうつる場合があるので、においの強いものはお断りさせていただいています。

Q14 ほかにもわからないこと思い付いたんだけど…？

→ぜひ、お声がけください。小声でお話をすることはできますし、じむ室で少しお話しできます。これまで利用したことのある方に聞いてもらっても OK です。

Q15 フリースクールができる、って聞いたんだけど…？

→はい、そうです。でも、思っているようなフリースクールとは少し違うかもしれません。大切にしたいことはありますが、カリキュラムは存在しません。ただ、本があって、場所があって、時間があります。少しでも選択肢が増えるように、願わくば、他にもこういったゆるい、フリースクールが増えるといいな、と考えています。

Q16 ゆるい、って大丈夫なの…？

→心配ですね。よければ、ぜひ一度覗きに来ませんか？もちろん、できることは決して多くないかもしれませんが、こういった場所の選択肢が増えるというのは案外悪い話ではないように思うのです。なので一度雰囲気味わってみませんか？もちろん、合わなければ違う場所へ行けばいい。それだけの話なのです。

<少し変わったお願い>

【ネガティブオーラの取り扱いについて】

・ズーン…。としたような重い気持ちなどは、少人数での空間や日常の何気ない動作から少々気持ちが和らいだり、つかの間の休息になる場合がございますので、よければ当店にお立ち寄りください。ご自身の気持ちに折り合いをつけるための時間をご提供できれば、幸いです。

・イライラやピリピリなどのお気持ちの持ち込みは一切お断りしています。それらの気持ちの周囲への波及効果が計り知れないためです。(単に周りや自分にとってもマイナスの影響を与えるので好ましくないということです。)

【当店の空気感について】

当店の空気感は、そこに集う一人一人の空気感とそれらの相互作用、そこにほんの少しの当店特有の空気感が合わさって出来上がっています。そのため、同じ時間に居合わせた方は他人ではなく、当店の空気を形作っている仲間の一人として意識していただければ幸いです。もちろん仲間だからといって必要以上に関わることもありません。ただ、少しの気遣いと敬意を相手にもっていただけるとこの場にいる全員が救われます。何より店主が一番救われます。(笑) ちなみに、この“やさしい世界”が少しでも広がるのが店主のひそかな野望でもあります。

ここまで、読んでくださり、もしくは読み飛ばしながらも、ここを読んでくださり、本当にありがとうございます。

実はこれ。プレオープン3日目に書いております。(これを書くほど時間に余裕があった・・・わけなんですけど。) その中で感じたのは、自分の選んだ本を見てくれること。その本を手にお会計をしに来てくれること。自分の話す言葉を一生けん命に聞いてくれること。すべてが嬉しく、いとおしくなるような時間でした。

このお店は、自分のためでもあり、みなさんへの一つの提案でもあります。少しでもやさしい世界と言えるように。世界はグラデーションであるということ。そんなことが少しでも伝わり、何か兆し (merkki) のようなものを感じてもらえれば、もうそれ以上言うことはありません。

また、“やさしい世界” というのは、単に親切という意味ではありません。口が悪くても、一見ひどいことを言っているようでも、愛がある行動はなんとなく感じる事ができます。ここでは、クスッと笑えるような「ほっこり感」を大事にできればと思います。そこには、障がいがあるとか、ないとか。高齢であるとか、若いとか。家庭に事情があるとか、ないとか。関係ないと思うんです。というか、そんなことを理由にすることを限りなく薄くしていきたいんです。ただ、想いは伝わらないよりは伝わる方がいい。そんなモットーのもと、この店を営んでいきたいと思います。…まあそんなうまくいくわけもないと思うので、長い目で温かく見ていただけると助かります。(笑)

店主 じーも



ありがとう

ご利用の案内 Vol.2.2



2026年1月3日改定